

2 障害者の現状

ノーマライゼーション理念に基づき、障害のある人もない人も、ともに支え合い積極的な社会参加や地域での生活を通じて、自己実現を図り、日々快適にいきいきと暮らすことができる地域社会の形成を進める必要があります。

このため、障害のある人が、自立し、社会活動への参画や主体性をもった生活ができ、ゆとりとやすらぎを感じながら暮らせるまちづくりを推進する必要があります。

(1) 岡山県における障害者の現状

●全体状況

岡山県の障害者は、高齢化の影響もあって年々増加傾向にあり、現在、身体障害・知的障害・精神障害を有する人を合計すると約128,000人となります。

表1：岡山県の障害者の状況

(単位：人)

年齢区分	障 害 種 別			
	身 体 障 害	知 的 障 害	精 神 障 害	
	身体障害者手帳所持者 (H12.3.31現在)	療育手帳所持者 (H12.3.31現在)	精神障害者保健福祉手帳所持者 (H12.3.31現在)	厚生労働省「患者調査」 (H8実施)
18歳未満	1,377	1,875	1,573	約 3,000
18歳以上65歳未満	24,123	7,305		約32,000
65歳以上	45,986	482	315	約12,000
小 計	71,486	9,662	1,888	約47,000
手帳所持者計	83,036			—
合 計	約 128,000 人			

- (注) 1) 合計欄は、精神障害者で手帳を所持しない者を含む人数です。
2) 精神障害者保健福祉手帳所持者については、精神障害者保健福祉手帳制度が平成7年10月から創設され、制度として新しいことから実態の障害者数を反映していません。
3) 厚生労働省「患者調査」では、障害者手帳交付の対象外の軽度の人数を含みます。
4) 知的障害の療育手帳所持者の人数については、平成7年度知的障害児（者）基礎調査によれば、84.4%が「療育手帳を所持している」となっています。

●身体障害(児)者

岡山県の身体障害者は、人口の高齢化に伴い増加傾向にあり、特に肢体不自由、内部障害が増加しています。また、障害者の高齢化、重度化の傾向が見られます。

表2：岡山県の身体障害(児)者の状況

【障害別による状況】

(平成12年3月31日現在) (単位：人)

年齢区分	障 害 区 分					合 計
	視覚障害	聴覚・平衡機能障害	音声・言語等	肢体不自由	内部障害	
18歳未満	50	218	16	802	291	1,377
18歳以上65歳未満	2,048	1,883	307	14,452	5,433	24,123
65歳以上	4,605	4,752	456	27,424	8,749	45,986
合 計	6,703	6,853	779	42,678	14,473	71,486

【年齢別による推移】

(各年3月31日 現在) (単位：人)

年齢区分	平成 2年		平成 6年		平成11年	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
18歳未満	1,354	2.3%	1,435	2.2%	1,377	1.9%
18歳以上65歳未満	27,133	46.2%	26,322	40.5%	24,123	33.8%
65歳以上	30,229	51.5%	37,231	57.3%	45,986	64.3%
合 計	58,716	100.0%	64,988	100.0%	71,486	100.0%

【障害等級別による推移】

(各年3月31日 現在) (単位：人)

障害等級	平成 2年		平成 6年		平成12年	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
1 級	12,444	21.2%	15,403	23.7%	20,308	28.4%
2 級	10,824	18.4%	12,101	18.6%	13,104	18.3%
3 級	8,351	14.2%	9,160	14.1%	9,698	13.6%
4 級	11,051	18.8%	12,803	19.7%	14,784	20.7%
5 級	8,253	14.1%	8,017	12.4%	6,949	9.7%
6 級	7,793	13.3%	7,504	11.5%	6,643	9.3%
合 計	58,716	100.0%	64,988	100.0%	71,486	100.0%

【障害種別による推移】

(各年3月31日現在) (単位：人)

障害等級	平成 2年		平成 6年		平成12年	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
視覚障害	7,965	13.6%	7,712	11.9%	6,703	9.4%
聴覚障害	7,440	12.7%	7,381	11.4%	6,853	9.6%
音声・言語障害	663	1.1%	786	1.2%	779	1.1%
肢体不自由	35,543	60.5%	38,896	59.8%	42,678	59.7%
内部障害	7,105	12.1%	10,213	15.7%	14,473	20.2%
合 計	58,716	100.0%	64,988	100.0%	71,486	100.0%

●知的障害(児)者

療育手帳を所持している知的障害(児)者は、年々増加する傾向にあります。

表3：知的障害(児)者の状況

【障害等級別による状況】

(平成12年3月31日現在) (単位：人)

年齢区分	障 害 等 級		
	療 育 手 帳 A	療 育 手 帳 B	合 計
18歳未満	852	1,023	1,875
18歳以上65歳未満	2,941	4,364	7,305
65歳以上	258	224	482
合 計	4,051	5,611	9,662

(注) 療育手帳 A：最重度及び重度(知能指数が概ね35以下)

療育手帳 B：中度及び軽度(知能指数が概ね35超～75以下)

【障害等級別による推移】

(各年3月31日 現在) (単位：人)

障害等級	平成 2年		平成 6年		平成12年	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
療育手帳 A	2,914	44.8%	3,433	44.5%	4,051	41.9%
療育手帳 B	3,597	55.2%	4,274	55.5%	5,611	58.1%
合 計	6,511	100.0%	7,707	100.0%	9,662	100.0%

●精神障害者

精神障害者は、増加する傾向にあり、平成8年度患者調査等によれば、入院患者約5,300人、社会復帰施設等入所者約200人、在宅患者約41,500人、合計約47,000人となります。

表4：精神障害者の状況

【平成8年 厚生労働省「患者調査」の概要】

(単位：人)

区 分	人数
血管性及び詳細不明の痴呆	3,000
精神作用物質使用による精神及び行動の障害	1,000
精神分裂病、分裂病型障害及び妄想性障害	21,000
気分「感情」障害(そううつ病を含む)	8,000
神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	9,000
その他の精神及び行動の障害	1,000
アルツハイマー病	1,000
てんかん	3,000
精 神 疾 患 計	47,000

(2) 津山市における障害者の現状

●全体状況

本市の障害者手帳の所持者は、平成13年3月31日現在3,119人で年々人口の高齢化に伴い増加傾向にあります。特に内部障害が増加し、障害の高齢化・重度化の傾向がみられます。

表5：身体障害者手帳所持者の状況

(平成13年3月31日現在) (単位：人)

年齢区分	身体障害者手帳所持者
18歳未満	53
18歳以上65歳未満	1,070
65歳以上	1,996
合 計	3,119

表6：身体障害(児)者の状況

【障害別による状況】

(平成13年3月31日現在) (単位：人)

年齢区分	障 害 区 分					合 計
	視覚障害	聴覚・平衡機能障害	音声・言語等	肢体不自由	内部障害	
18歳未満	4	10	0	31	8	53
18歳以上65歳未満	63	79	17	642	259	1,070
65歳以上	201	210	15	1,110	460	1,996
合 計	278	299	32	1,783	727	3,119

【年齢別による推移】

(各年3月31日 現在) (単位：人)

年齢区分	平成 9 年		平成 11 年		平成 13 年	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
18歳未満	51	1.8%	50	1.7%	53	1.7%
18歳以上65歳未満	1,186	41.0%	1,135	37.7%	1,070	34.3%
65歳以上	1,653	57.2%	1,826	60.6%	1,996	64.0%
合 計	2,890	100.0%	3,011	100.0%	3,119	100.0%

【障害等級別による推移】

(各年3月31日 現在) (単位：人)

障害等級	平成 9 年		平成 11 年		平成 13 年	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
1 級	772	26.7%	862	28.6%	917	29.4%
2 級	510	17.6%	526	17.5%	513	16.5%
3 級	407	14.1%	428	14.2%	456	14.6%
4 級	592	20.5%	622	20.7%	684	21.9%
5 級	316	11.0%	296	9.8%	286	9.2%
6 級	293	10.1%	277	9.2%	263	8.4%
合 計	2,890	100.0%	3,011	100.0%	3,119	100.0%

【障害種別による推移】

(各年3月31日現在) (単位：人)

障害等級	平成 9 年		平成 11 年		平成 13 年	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
視覚障害	298	10.3%	286	9.5%	278	8.9%
聴覚障害	321	11.1%	306	10.1%	299	9.6%
音声・言語障害	33	1.1%	30	1.0%	32	1.0%
肢体不自由	1,722	59.6%	769	58.8%	1,783	57.2%
内部障害	516	17.9%	620	20.6%	727	23.3%
合 計	2,890	100.0%	3,011	100.0%	3,119	100.0%

●知的障害(児)者

療育手帳を所持している知的障害(児)者は、年々増加する傾向にあります。

表7：知的障害(児)者の状況

【障害等級別による推移】

(各年3月31日現在)(単位：人)

障害等級	平成9年		平成11年		平成13年	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
療育手帳A	167	39.3%	173	39.8%	178	39.0%
療育手帳B	258	60.7%	262	60.2%	278	61.0%
合 計	425	100.0%	435	100.0%	456	100.0%

●精神障害者

精神保健福祉手帳の所持者は、平成13年12月31日現在137人です。

表8：精神障害(児)者の状況

【精神保健福祉手帳所持者】(平成13年12月31日現在)(単位：人)

年齢区分	身体障害者手帳所持者
18歳未満	0
18歳以上65歳未満	126
65歳以上	11
合 計	137

【障害別による状況】

(平成13年3月31日現在)(単位：人)

年齢区分	1級	2級	3級	合計
18歳未満	0	0	0	0
18歳以上65歳未満	17	91	18	126
65歳以上	4	5	2	11
合 計	21	96	20	137

【通院公費負担制度適用者数】

625人(平成13年12月31日現在)